世代をつなぐ農村まるごと保全向上対策

資源向上活動（施設の長寿命化のための活動） 活動指針

☆活動指針

この指針は、老朽化が進む農地周りの農業用排水路等の施設の長寿命化のための活動の対象施設・対象活動に関する指針を定めたものです。

活動組織のみなさんは、この指針に基づき資源向上活動（長寿命化）に取り組んでいただきますようお願いいたします。

令和7年6月
滋賀県

目 次

対象施設	ページ
用排水路整備	3～4
農道整備	5
ため池整備	6

活動項目		取組	取組内容	活動要件	
	施設区分				
実践活動	用排水路 (本体)	補修	破損部分の補修	ひび割れや部分的な欠損、側壁の倒壊など、水路の一部区間が破損している場合、破損状況に応じた工法による補修等の対策を行うこと。	原則として、工事1件当たり2百万円未満とする。 また、県知事が策定する要綱基本方針に基づき、対象組織が工事1件当たり2百万円以上の活動を実施する場合、県または推進協議会が当該活動について技術的指導を行う。 資源向上支払(長寿命化)の交付対象となるのは、整備後30年以上経過した用水路のうち、「末端用水路(開水路)の劣化度判定基準(別紙1)」に基づき劣化度「C」判定の施設および「C」判定の割合が多い施設、または30年以上経過した排水路のうち生物多様性保全水路のみ。それ以外の施設については農地維持支払、資源向上支払(共同)の交付金を活用して実施すること。
			老朽化部分の補修	目地の劣化やコンクリート表面の磨耗、はく離など、水路の一部区間が老朽化している場合、老朽化の状況に応じた工法による補修等の対策を行うこと。	
			U字フリューム等既設水路の再布設	水路敷きの不同沈下により溢水や漏水、あるいは、土砂の堆積など、通水機能に支障が生じている場合、U字フリューム等既設水路の再布設による対策を行うこと。	
			側壁の嵩上げ	水路の不同沈下により溢水するといった通水機能に支障が生じている場合、水路側壁を嵩上げすることによる対策を行うこと。	
		更新	更新(一路線全体)	老朽化や不同沈下等による通水機能への支障が路線全体を通じて生じている場合、水路の路線全体の更新による対策を行うこと。	
			素掘り水路からコンクリート水路への更新	水路法面の崩壊や土砂の堆積等による通水機能の喪失や、清掃や泥上げなどの日常管理が困難な場合、コンクリート製の水路に更新するなどの対策を行うこと。	
		生物多様性保全水路整備(排水路) 「豊かな生きものを育む水田づくり」を推進する施設の設置	上記の水路整備のうち排水路の補修更新にかかるいずれかの取組を行った路線において、生きものが生息できる場所の確保(生息・生育環境の確保)、水田と排水路と河川を魚道でつなげる(移動経路の確保)など、農地や農業水利施設などでも生きものがくらしやすい環境を整えていく「 <u>豊かな生きものを育む水田づくり</u> 」を推進する施設を <u>一体的に行うこと。</u>		

活動項目		取組	取組内容	活動要件
	施設区分			
実践活動	用排水路 (付帯)	補修	集水枡、分水枡の補修	集水枡、分水枡の破損箇所や老朽化した箇所の補修等の対策を行うこと。
			ゲート、ポンプの補修	ゲート、ポンプの破損や老朽化した箇所の補修等の対策を行うこと。
			安全施設の補修	水路内への侵入や転落を防止するフェンスなど安全施設の破損箇所や老朽化した箇所の補修等の対策を行うこと。
		更新	ゲート、ポンプの更新	老朽化等により機能に支障が生じているゲート、ポンプについて、更新等の対策を行うこと。
			安全施設の更新	水路内への転落防止や危険区域内への立入り防止等のために、新たに安全施設を設置することによる対策を行うこと。
				<p>原則として、工事1件当たり2百万円未満とする。</p> <p>また、県知事が策定する要綱基本方針に基づき、対象組織が工事1件当たり2百万円以上の活動を実施する場合、県または推進協議会が当該活動について技術的指導を行う。</p> <p>資源向上支払(長寿命化)の交付対象となるのは、整備後30年以上経過した用水路のうち、「末端用水路(開水路)の劣化度判定基準(別紙1)」に基づき劣化度「C」判定の施設および「C」判定の割合が多い施設、または30年以上経過した排水路のうち生物多様性保全水路のみ。それ以外の施設については農地維持支払、資源向上支払(共同)の交付金を活用して実施すること。</p>

活動項目		取組		取組内容	活動要件
	施設区分				
実践活動	農道 (本体)	補修	農道路肩、農道法面の補修	農道路肩、農道法面に侵食や土砂の崩壊などが生じている場合、当該箇所状況に応じた工法による補修等の対策を行うこと。	原則として、工事1件当たり2百万円未満とする。 また、県知事が策定する要綱基本方針に基づき、対象組織が工事1件当たり2百万円以上の活動を実施する場合、県または推進協議会が当該活動について技術的指導を行う。
			舗装の打替え（一部）	老朽化等により農道の舗装路面の凹凸、轍、ひび割れ等がみられた場合、その一部を撤去するなどした後、新たに舗装するなどの対策を行うこと。	
		更新	未舗装農道を舗装（砂利、コンクリート、アスファルト）	未舗装農道において、農道の維持管理等に支障が生じている場合、新たに路面を舗装することによる対策を行うこと。	
	農道 (付帯)	補修	農道側溝の補修	ひび割れや部分的な欠損、側壁の倒壊といった破損や目地の劣化、コンクリート表面の磨耗、ひび割れ、はく離等といった老朽化が生じている場合、当該箇所状況に応じた工法による補修等の対策を行うこと。	
			更新	側溝蓋の設置	
		更新	土側溝をコンクリート側溝に更新	土側溝において、側溝法面の崩壊や土砂の堆積等による通水機能の喪失や、清掃や泥上げなどの日常管理が困難な場合、コンクリート製の側溝に更新するなどの対策を行うこと。	

活動項目		取組		取組内容	活動要件
	施設区分				
実践活動	ため池 (本体)	補修	洗掘箇所 <small>の補修</small>	ため池において、堤体が洗掘されている場合、土のうを積んで補修する等の対策を行うこと。	原則として、工事1件当たり2百万円未満とする。 また、県知事が策定する要綱基本方針に基づき、対象組織が工事1件当たり2百万円以上の活動を実施する場合、県または推進協議会が当該活動について技術的指導を行う。
			漏水箇所 <small>の補修</small>	ため池において、老朽化等による堤体からの漏水等がみられた場合、遮水シートを設置する等の対策を行うこと。	
	ため池 (付帯)	補修	取水施設 <small>の補修</small>	ため池の竖樋、底樋、斜樋などの取水施設の破損や老朽化した箇所 <small>の補修等</small> の対策を行うこと。	
			洪水吐 <small>の補修</small>	ため池の洪水吐の破損や老朽化した箇所 <small>の補修等</small> の対策を行うこと。	
			安全施設 <small>の補修</small>	転落防止や危険区域内への立入り防止等のために設置されている安全施設の破損や老朽化した箇所 <small>の補修等</small> の対策を行うこと。	
		更新	ゲート、バルブ <small>の更新</small>	老朽化等により機能に支障が生じているため池のゲート、バルブ <small>の更新等</small> の対策を行うこと。	
安全施設 <small>の設置</small>			ため池への転落防止や危険区域内への立入り防止等のために、新たに安全施設を設置することによる対策を行うこと。		